

神戸市会だより

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。

神戸市会 検索

2020年
令和2年

2月

No.
204

発行：神戸市会事務局
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
☎(078)322-5853 FAX(078)322-6170
■神戸市会だよりは年4回発行します。
(次回は5月号)

広報紙KOBÉより抜き出してお読みください。

神戸市広報印刷物登録 平成31年度第26号-4
(広報印刷物規格 A-1類)

令和2年2月議会の開会によせて

2月18日から開会する2月議会は、令和2年度の予算案を審議する重要な議会です。

子育て・教育施策の充実や市民福祉の向上など、市民の皆様の暮らしをさらに良くしていくとともに、神戸経済の発展や新たなまちづくりなどにより神戸の新たな未来を切り開くため、市会議員の幅広い見地と、多角的な視点による活発な議論を通して、提案された内容を厳正に審査してまいります。

昨年から問題となっている東須磨小学校での教員間のハラスメント事案、市の外郭団体「神戸新交通」における労働組合役員への不適正支出などの不祥事など問題のあった事案や、須磨海浜水族園の再整備計画など重要な案件について、徹底的に議論してまいりました。引き続き行政の監視機関としての役割を果たしてまいります。

また、神戸市会は、議会独自の政策立案、政策提言を積極的に行っており、昨年は、「神戸市子どもを虐待から守る条例」「おいしい神戸農水産物等の活用の推進に関する条例」などの条例が議員提案により可決・成立いたしました。

今年の1月17日、震災25年を迎えましたが、復興の時期を経て、神戸をさらに発展させていくため、今後も市民の皆様への負託にこたえるよう全力で取り組んでまいります。



議長
安達 和彦



副議長
村野 誠一

2月議会に向けて

令和2年度の予算審議(2月議会)に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

東灘区											灘区								
	<p>上島 寛弘 (自由民主党)</p>	<p>浦上 忠文 (つなぐ)</p>	<p>大野 陽平 (自由民主党)</p>	<p>北川 道夫 (公明党)</p>	<p>外海 開三 (日本維新の会)</p>	<p>辻 康裕 (日本維新の会)</p>	<p>西 ただす (日本共産党)</p>	<p>松本 のり子 (日本共産党)</p>	<p>安井 俊彦 (自由民主党)</p>	<p>やの こうじ (こうべ市民連合)</p>		<p>味口としゆき (日本共産党)</p>							
						中央区													
	<p>諫山 大介 (共創・国民民主)</p>	<p>川口まさる (日本維新の会)</p>	<p>小林 るみ子 (つなぐ)</p>	<p>高瀬 勝也 (公明党)</p>	<p>吉田 健吾 (自由民主党)</p>		<p>あわはら 富夫 (つなぐ)</p>	<p>岡村 正之 (自由民主党)</p>	<p>沖久 正留 (公明党)</p>	<p>河南 ただかず (自由民主党)</p>		<p>三木 しんじろう (日本維新の会)</p>	<p>よこはた 和幸 (こうべ市民連合)</p>						
	兵庫区							北区											
		<p>大かわら 鈴子 (日本共産党)</p>	<p>菅野 吉記 (公明党)</p>	<p>平野 達司 (自由民主党)</p>	<p>村上 立真 (無所属)</p>		<p>守屋 隆司 (自由民主党)</p>		<p>朝倉 えつ子 (日本共産党)</p>	<p>池田 りんたろう (こうべ市民連合)</p>		<p>伊藤 めぐみ (こうべ市民連合)</p>	<p>植中 雅子 (自由民主党)</p>	<p>上原 みなみ (無所属)</p>	<p>五島 大亮 (自由民主党)</p>	<p>堂下 豊史 (公明党)</p>			
					長田区								須磨区						
		<p>徳山 敏子 (公明党)</p>	<p>坊 やすなが (自由民主党)</p>	<p>山本のりかず (日本維新の会)</p>			<p>ながさわ 淳一 (日本維新の会)</p>		<p>軒原 順子 (公明党)</p>	<p>平井 真千子 (自由民主党)</p>		<p>森本 真 (日本共産党)</p>		<p>安達 和彦 (自由民主党)</p>	<p>大井 としひろ (こうべ市民連合)</p>	<p>門田 まゆみ (公明党)</p>	<p>住本 かずのり (日本維新の会)</p>		
							垂水区												
		<p>松本 しゅうじ (無所属)</p>	<p>村野 誠一 (自由民主党)</p>	<p>山本 じゅんじ (日本共産党)</p>					<p>今井 まさこ (日本共産党)</p>	<p>大澤 和士 (公明党)</p>		<p>岡田 ゆうじ (自由民主党)</p>		<p>川内 清尚 (こうべ市民連合)</p>	<p>さとう まちこ (日本維新の会)</p>	<p>しらくに 高太郎 (自由民主党)</p>	<p>高橋 ひでのり (つなぐ)</p>	<p>たなびき 剛 (こうべ市民連合)</p>	<p>平野 章三 (無所属)</p>
西区																			
		<p>壬生 潤 (公明党)</p>	<p>香川真二 (つなぐ)</p>	<p>かじ 幸夫 (こうべ市民連合)</p>					<p>黒田 武志 (日本維新の会)</p>	<p>高橋 としえ (日本維新の会)</p>	<p>林 まさひと (日本共産党)</p>	<p>藤本 浩二 (公明党)</p>		<p>坊池 正 (自由民主党)</p>	<p>前島 浩一 (共創・国民民主)</p>	<p>山口 由美 (自由民主党)</p>	<p>山下 てんせい (自由民主党)</p>	<p>吉田 謙治 (公明党)</p>	

本会議での一般質問から

12月5日・12月6日の本会議では、一般質問が行われました。その主な内容をご紹介します。(一般質問の録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。)

神戸市会 中継 検索



質問した議員

- 自由民主党・・・平井真千子・山下てんせい・吉田健吾
- 公明党・・・軒原順子・堂下豊史
- 日本維新の会・・・辻康裕・川口まさる

- 日本共産党・・・山本じゅんじ・林まさひと
- こうべ市民連合・・・川内清尚・池田りんたろう
- つなぐ・・・高橋ひでのり
- 共創・国民民主・・・前島浩一

- 無所属・・・平野章三 上原みなみ 村上立真

まちづくり

新長田駅前広場とピフレ新長田

自平井議員

新長田駅前広場をバスロータリーとして再整備し、地域活性化に繋げようとしているが、ピフレ新長田ではテナント誘致が進んでいない。水回り設備などの問題があると聞いているが、施設改修や2階への歩道橋接続など早急に魅力づくりに取り組むべきではないか。

A 空き区画解消のため、設備改修やレイアウト変更などをビルの区分所有者の意見を聞きながら一緒に検討していく。新長田一帯の回遊性向上のためには、東急プラザ2階からピフレ新長田2階への歩道橋の接続に加え、新長田駅までの接続も考慮すべきと考えており、地域のご意見を伺いながら検討を進める。

西神中央駅前の歩行者動線

自山下議員

現在整備が進む西区新庁舎は、子育て世帯、高齢者、障害のある方などさまざまな市民の皆様の利用が想定され、快適で安全な歩行者動線の整備が必要である。キャノピー(屋根)の設置など、西区新庁舎周辺の動線整備についてどのように準備を進めていくのか。

A 西区新庁舎開設にあわせ、駅周辺のまちづくりを今後、一体的に進めていくことが必要であり、歩行者動線確保の観点から、夜間照明やキャノピー、エシ

ペーターの新設などのバリアフリー対応に加え、動線上にあるパークアベニューやプレンティ広場などのリニューアルを本格的に実施していきたい。

「そごう西神店」撤退後のまちづくり

自山下議員

「そごう西神店」撤退の発表を受け、今後のまちづくりや雇用への影響を心配する住民の声を数多くいただいている。撤退後どのような施設を誘致するか、西神中央エリア全体のまちづくりの観点からコンセプトを示すべきではないか。

A 「そごう」撤退後の施設は商業施設を中心とした利用が望ましいと考える。事業者からも駅前直結の立地でありポテンシャルがあるとの評価を得ており、関係部局が一体となって複数の百貨店やディベロッパーなどにヒアリングを行い、出店の可能性をあたっている。民間コンサルの力も借り、戦略的なテナント募集に全力で取り組みたい。

摩耶山の活性化

自吉田(健)議員

地元の裏山として愛される摩耶山上の再整備が検討されていると聞くと、魅力の向上と観光誘客の促進を両輪として、地元の声を聞きながら進める必要がある。夜間も含めた都心からのアクセス向上と、山上全体の再整備を一体的に検討すべきと考えるがどうか。

A 地元の方々の積極的な活動のもと、豊かな自然と歴史・文化の調和した摩耶山の魅力が保たれており、今後の再整備も連携して検討を進めたい。また、

まやビューラインや三宮・新神戸から山の麓に至る急行バスの利用状況の検証を行った上で、夜間も含めたアクセス向上について再整備の中で検討していきたい。



摩耶山からの夜景

そごう西神店の撤退

自林議員

そごう西神店の撤退表明は地元へ衝撃を与えている。神戸の西の拠点である西神中央駅前の活性化のためにも、そごう西神店に対して撤退の撤回を迫るべきではないか。また減額してきた賃料の返還や撤退あとの提案を求めるなど強い立場で臨み、その上でまちづくりをどうしていくかについて考えるべきではないか。

A そごう西神店撤退に関し我々に課せられた任務は、西神中央駅前にふさわしい後継テナントを早期に誘致することであるとされており、地域の活性化が重要であるという観点で、関係部署と十分に連携を図りながら、全力で取り組んでいきたい。

健康・福祉

高齢者の社会参加支援

自堂下議員

高齢者の社会参加支援のため、介護予防のニーズの高い地域を実態把握し優先的につどいの場を設置するとともに、専門職の派遣が広く行われるよう制度を見直すべきである。また、高齢者の一層の社会参加支援と担い手確保のため、ボランティアポイントを導入しICカードで管理する仕組みを検討できないか。

A 高齢者のつどいの場を運営する団体への補助制度を見直すとともに、地域の健康課題に応じた専門職の派遣を検討していきたい。ボランティアの確保に有効と思われるボランティアポイントの導入についても、積極的に検討していきたい。

生活保護の不正受給対策

自川口議員

受給者と接点の多いケースワーカーによる不正受給発見につながるように、保護業務へICT技術を導入し業務を効率化するなど、対策を講じるべきではないか。

A 生活保護制度が変更されるたびに業務量が年々増大・複雑化する中、紙を中心とする業務が主体であったなど業務量に見合った効率化が図れておら

ず、ICT化による業務改革は課題であると認識している。生活保護制度を適切に運用するためケースワーカーによる実態把握が重要であり、タブレット端末を携帯した訪問調査活動を速やかに実施するなど、ICT化を推進しケースワーカーの負担軽減に取り組む。

障がい者施設の事故対応

自川内議員

障がい者支援施設で起きた事故について、施設が適切な事故対応や報告を怠った事例があった。知的障害者などの弱い立場の人がこのような不利益を被ることがあってはならない。再発防止のため、事故後の対応が適正に行われるよう徹底すべきと考えるがどうか。

A 本市では、事故報告マニュアルにおいて、施設での事故発生時はその内容などを本市に報告することを規定しており、報告内容や対応、再発防止策が不十分な場合は、適切に対応するよう指導している。今後、不適切な事案が起こらないよう、各施設にマニュアルに基づく対応を周知徹底してまいりたい。

生活困窮者の自立支援事業拡充

自高橋(ひ)議員

生活困窮に陥っている相談者を適切な支援窓口へつなげられるよう、生活困窮者自立支援事業につ

いて、暮らしに関わる全ての担当職員を対象とした研修が必要である。また、相談者の課題を関係者で共有するための「つなぐシート」を導入し、連携ツールとして活用してはどうか。

A 情報共有のツールの活用は有効とは考えるが、まずは、各種相談窓口が相談者の抱えている状況を把握し、適切な窓口案内することが肝要である。相談者の個別事案に応じた対応が実現するよう、担当者会議などあらゆる機会を通じて制度を周知し、職員の意識啓発に取り組んでまいりたい。

敬老優待乗車制度の見直しへの対応

自前島議員

敬老優待乗車制度の見直し案では無料乗車券の廃止や近郊区における上限の撤廃が示されており、現行の2~3倍程度に負担がふえる路線もある。区民の社会参加の足が奪われてしまうことがないよう、一定の上限額を定め、その範囲内で小児料金化(約半額負担)にすべきではないか。

A 本市としては制度を長期的に維持することを第一に考え、バス近郊区での上限設定を廃止し、すべて小児料金としたいと考えている。また、見直しにあわせて、敬老バスの目的でもある社会参加の促進について、より身近な場所での社会参加を促す施策も充実させてまいりたい。

教育・こども

中学校給食のあり方

自吉田(健)議員

中学校給食は全員喫食を基本としているが、利用率は30%台と極めて低い状況である。給食の質の向上を再検討した上で、給食は教育の一環という原点に立ち返り、真の全員喫食への切り替えを検討すべきと考えるがどうか。

A 中学生の望ましい食生活、食習慣の形成を図り食育を推進する観点から全員喫食が目指すべき姿と考えている。温かいメニューやデザート回数増加、主食の充実など献立内容の充実を検討するとともに、安全・安心・安定的に給食が提供できるよう、民間活力の活用も念頭に中学校給食のさらなる魅力化を検討する中で全員喫食の実現も検討していく。

子どもの貧困問題

自軒原議員

子どもの7人に1人が貧困状態にあると言われており、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的に、平成25年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が定められた。子どもが夢を諦めることなく目標に向かって進んでいけるようきめ細かな支援を行うため、神戸市においても子どもの貧困調

査を行い、実態を把握すべきと考えるがどうか。

A 国においては、来年度「子どもの貧困に関する実態調査」を実施することが検討されており、その際初めて共通の調査項目が示される予定である。この動きを注視しながら本市でも実態調査について検討してまいりたい。

教員採用時の選考基準の公表

自堂下議員

開かれた学校が求められる中、学校教育の根幹を支える教員の採用について、神戸市では配点や選考基準を公表していないため、基準が公正妥当なのか検証・議論できない。採用選考の透明性を一層高め、優秀な人材を確保するためにも、選考基準を公表すべきではないか。

A 全都道府県・指定都市の約8割が配点や判断基準などを公表している。選考基準の公表により、求める資質や能力を備えた人材とのマッチングが期待でき、志願者にあらかじめ求める資質、能力を高める機会を提供できる。公表内容や最適な選考基準等について具体的に検討を進めてまいりたい。

東須磨小学校の支援体制

自山本(じ)議員

学校再生のため大切な支援体制

が、新卒の常勤講師の配置では負担が大きく、正規の教員や副担任の配置といったサポートが必要ではないか。また、教員や児童・保護者、地域関係者の意見や不安の声を傾け、学童保育や児童館などへも説明や情報共有していくべきではないか。

A 常勤講師が新たに担任となったクラスでは更に1名の常勤講師と事務局から派遣した教員経験者が複数指導に当たっており、今後も強力にサポートしていく必要があると考えている。また学童保育や児童館など関係者への説明・情報共有についてもしっかりと取り組んでいきたい。

教育委員会組織の信頼関係

自平野(章)議員

11月29日に行財政局長が校長などの期末手当増額を見送る条例について、遡及するため何ら不利益は生じないと発言したが、それはパフォーマンスである。遡及することを内部で協議したのではないか。教員籍との信頼関係がなくなるので、まず信頼関係を作してほしい。

A そこまでの話をした記憶はない。一般的には遡及して改定を行うことは可能であるが、今後の信頼回復などの取り組みを踏まえ判断されるべきと考える。

産業・交通

産業・交通

神戸の閉塞感の打破

自辻議員

近年神戸市では、組織風土に起因する不祥事が相次いでいる。その一つとして、神戸新交通はいまだにお役所的な組織風土で、株式会社としてあるべき「お客様目線」の意識が不足している。組織風土を抜本的に改革するため、市の関与を段階的に引き下げ、完全民営化を目指すなど思い切った施策が必要ではないか。

A 今後も民間の柔軟な発想やノウハウを経営に取り入れ、「お客様目線」の意識をさらに組織に根付かせていく。また、市の重要政策を支える公共交通機関であり、市が株主という立場で経営に関与する必要と考えるため、完全民営化は慎重に判断したい。

水素スマートシティ神戸構想の取り組み

自池田議員

水素の活用について、民間事業者の動きが具体化している中、「水素スマートシティ神戸構想」を掲げる神戸市も、水素ステーションの整備や量産型燃料電池バスの導入など、具体的な取り組みを進めるべきと考えるがどうか。

A 本市が掲げる「水素スマートシティ神戸構想」においては、先駆的な実証事業と併せて、目に見える取り組みも大事であると考えている。新たな水素ステーションの誘致や燃料電池バスの早期の導入についても必要であると認識しており、費用と効果を見極めながら関係者と協議する中で可能性を模索していきたい。

北神急行市営化に伴うバス62系統の新設と64系統の減便

自上原議員

谷上行き62系統新設に伴い64系統が減便されると聞いているが、64系統の利用者に聞くと、99%の人が「62

系統ができて64系統に乗り続ける」と回答した。これほどの住民ニーズを見ても、64系統を減便するのか。

A 地域のご意見を伺いながら、さらに具体的な検討を進め、令和2年1月末頃には運行計画案を示したい。新路線運行開始後も、一定期間経過後、利用実態やお客様のご意見を改めて伺い、必要に応じて見直しを検討したい。

神戸港の人材育成

自村上議員

神戸・みなと体験として、小中学生向けに客船見学会などを開催しているが、神戸港の強みと歴史をつくり、大量の雇用と富を生み出しているのは貨物船であると思っている。荷役作業を含め貨物船を見学する機会を充実させるべきではないか。

A 神戸・みなと体験としては、これまでコンテナターミナルや荷役作業の見学がほとんどなかったのが実状であり、今後事業者の協力を得ながら内容を見直していきたい。

令和元年度神戸市一般会計補正予算などを可決

令和元年第2回定例会11月議会が11月27日から12月6日まで開かれ、令和元年度補正予算・条例改正などの議案の審議などが行われました(市長提出26件、議員提出2件、合計28件)。

可決した主な議案

◆ 議員提出議案

● 神戸市がん対策推進条例の一部を改正する条例

市はがん患者の就労に関する啓発活動、治療と就労の両立についての相談体制の整備など、がん患者の就労に関する必要な支援をするよう努めるという規定を追加し、がん患者が日々の生活を送る上で必要となる継続就労、職場復帰、新規就労などの支援を強化します。

◆ 令和元年度補正予算(11月補正予算)

国費を活用したマイナンバーカード交付円滑化事業を推進するとともに、公共工事の発注・施工時期の平準化などを図ります。

● 内容

マイナンバーカード交付円滑化事業として、土日に申請受付・交付が可能なサテライトの設置など
 ・場所：神戸交通センタービル
 ・開設：令和2年3月予定
 (5,200万円)

◆ 指定管理者の指定の件

神戸市立須磨海浜水族園や神戸総合運動公園などの施設の指定管理者を指定しました。

- ・神戸市立須磨海浜水族園
株式会社グランビスタホテル&リゾート
(指定期間 令和2年4月1日～令和5年5月31日)



神戸市立須磨海浜水族園

- ・神戸総合運動公園
公益財団法人神戸市公園緑化協会
(指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日)

令和元年 第2回定例会(11月議会)の動き

本会議

11月27日

- 元年度補正予算などの議案の提案・質疑
- 議員提出議案の提案・採決

常任委員会

11月28日・11月29日

- 元年度補正予算などの議案および請願・陳情の審査

本会議

12月4日

- 元年度補正予算などの議案の討論・採決
- 請願の討論・採決

本会議

12月5・6日

- 一般質問 2・3面でご紹介
- 閉会

令和2年第1回定例会(2月議会)について
令和2年2月18日(金)から3月31日(火)の予定です。



今年の市会会期予定



- 神戸市会は2会期制となっています。各会期においては、2回の集中審議期間を設けています。
- 市会開会期間以外でも、6つの常任委員会、特別委員会などは、必要に応じて開催します。

市会を傍聴してみませんか

本会議、常任委員会、特別委員会を傍聴いただけます。当日、開会予定時刻の1時間前から市役所1号館25階の傍聴受付で行います。

いずれも事前申し込みは不要で、先着順です。傍聴定員は本会議140名(うち、4席は車椅子席)、委員会40名です。

日程や内容は神戸市会のホームページをご確認ください。ぜひ一度、傍聴にお越しください。



神戸市会の本会議場

Facebookで市会の情報をお届けしています

本会議や委員会の開催状況や、正副議長の動きなど、最新的话题をタイムリーに情報発信しています。ぜひご利用ください。



市会の詳しい情報は、神戸市会のホームページをご覧ください。

神戸市会 中継 検索

